



地区だより

西条地区 

## 「西条地区 会員会社安全衛生パトロール・見学会」の開催

昨今業界にて多発中の火災事故などに対する会員の更なる安全意識向上および予防への取組みを目的とし、令和元年8月26日(月)西条地区幹事会社である㈱住共クリエイトサービスセンター（以下、SCC）にて、同地区初の「西条地区 会員会社安全衛生パトロール・見学会」を開催しました。

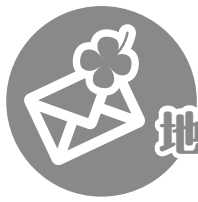
本開催に西条地区・近隣地区の会員あわせて計28名が参加し、冒頭SCCの親会社である住友共同電力㈱より、同社グループ全体の安全衛生への取組み説明をおこなった後、発電設備（ボイラー・タービン）および産廃木

くずの破碎処理施設等、比較的风险が潜在している場所を見学し、各参加会員へ、三現主義（“現場” “現物” “現実”）による現場の安全管理の重要性を提唱しました。

参加会員においては、普段目にすることが少ない他企業の設備や取組みを知ることにより、これまで以上に安全衛生への理解を深める絶好の機会となりました。

西条地区は今回の取組みを足掛かりに、今後も積極的に会員会社の安全衛生パトロールなどを計画し、会員のリスクマネジメント能力の一層の向上に努めて参りたいと思います。





地区だより

八幡浜地区 

## 平成30年7月豪雨災害に関する勉強会・意見交換会

八幡浜地区では、昨年7月に発生した平成30年7月豪雨災害における災害ごみの処分等に関する勉強会・意見交換会を開催した。

### ■実施日時

令和元年8月20日(火) 10:00~12:00

### ■実施場所

大洲市徳森248

株式会社西田興産 2階会議室

### ■出席者

16名

### ■実施内容

- ・平成30年7月豪雨災害記録ビデオ上映  
(大洲市内水害ごみの記録ビデオ)

記録ビデオは大洲市内の水害発災の様子から、発生したごみが各地区の空き地等に勝手に集められてできた「勝手仮置場」等から、大洲市指定の仮置場への搬入(分別)の様子や、想定外のごみ(危険物)等の処理等、実際に発生した災害でないといけない部分が収められてお

り、水害被害におけるごみ処理の困難さを理解することが出来た。

### ・意見交換

意見交換では、八幡浜地区内でも西予市などでは水害だけではなく土砂災害が発生した場所も多く、水害以外での災害対応に実際に従事した会員から貴重な意見をうかがうことが出来た。

えひめ産業資源循環協会(と各地区)が、協会としてどのような協力が行えるかや、連絡調整をどのように行えるかなど、事前に協議し体制を常に整えることが必要ではないかとの意見が出た。

また、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震においても、発生するごみは、処理に大変な困難が予想され、協会としてどのような地域貢献ができるか継続して話し合っていくことが必要との意見が出た。

各地区単位のみでは難しい部分も多いため、協会全体での議論が必要ではないか。





地区だより

宇和島地区 

## 令和元年度 不法投棄防止パトロールの開催

宇和島地区では、令和元年9月28日(土)南予地方局管内において、廃棄物の不法投棄を未然に防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、不法投棄されやすい松野、鬼北、吉田町の山間部や宇和島市、愛南、津島町の海岸線を中心に不法投棄防止パトロールを実施いたしました。

今回のパトロールでは、山間部のガードレールが途切れた急斜面や海岸線の民家の少

ない道路沿いに不法投棄ごみが確認されました。

当管内においては、地域住民の環境意識の向上に伴い、年々不法投棄の件数及び発生量は減少傾向にはあります。

今後、宇和島地区においては南予地方局不法投棄防止対策推進協議会と連携を密にしながら、不法投棄防止活動に積極的に取り組んで参ります。





地区だより

宇和島地区 

## 令和元年度 「ぼくのごみどこ行くの？」教室開催

宇和島地区では、環境意識の普及啓蒙活動として南予地域の小学校の児童たちに身近な地域の環境問題について理解を深め、環境保全活動への積極的な参加を育む取り組みとして、令和元年10月28日(月)宇和島市立畑地小学校において、3～6年生の児童19名を対象に「ぼくのごみどこ行くの？」教室を開催いたしました。

宇和島保健所の角田様を講師にお迎えいたしまして、10時30分から11時15分まで45分間の環境教室を行い、「ゴミにはどんな種類があるの?」、「ゴミはどこへ行くの?」、「ゴミについて困ったことは?」、「わたしたちには何ができるだろう?」について、児童たちに分かりやすく講演をしていただきました。

また、「ゴミについてのクイズ」では、多くの児童が積極的に発表を行い、児童たちも

地域の身近な環境問題として関心をもって受講していただきました。

児童からは、「海や川の環境を守っていきたい」、「買い物にはエコバックを持っていきたい」、「ペットボトルから洋服やズボンにかわるエコマークがわかった」「リデュース、リユース、リサイクルの3Rの意味がわかった」など、多くの感想をいただきました。

児童たちは「環境を守るための大切さ」を環境教室で学び、身近にあるごみの処理や有効利用など自分たちの生活との関わりを理解し、ごみの減量やリサイクルなど児童たちが協力できることを考えて、環境保全活動に取り組まれることと思います。

今後も、環境意識の普及啓蒙活動として南予地域の小学校で開催する予定です。



ぼくのゴミどこ行くの？

☆クイズプリント☆

年 名前 \_\_\_\_\_

1. 「宇和島地区広域事務組合 環境センター」では、集めてきた「びん・カン」はどのように分別しているでしょう？
  - ア. すべて機械で分別している
  - イ. 機械を使いながら、人が手作業で分別している
  - ウ. 分別していない
2. このまま、ゴミを出しつづけると、日本の「一般廃棄物 最終処分場」が満杯になるまであと何年でしょう？
  - ア. 20年
  - イ. 50年
  - ウ. 100年
3. わたしたちができる「リデュース」(ゴミそのものを減らすこと)で次のうち、間違っていることはどれでしょう？
  - ア. 洗剤がなくなったら、容器は捨てずに詰め替えをする
  - イ. 買い物には、いつもマイバッグを持っていく
  - ウ. 食べきれなかった料理を捨てる
4. メモ

---



---



---



---



---



愛媛県 県民環境部 環境局 循環型社会推進課

捨てちゃイヤ! 小型家電は、リサイクル。



1  携帯電話・FAXなど	2  携帯電話・PHS・ACアダプタなど	3  ラジオなど	4  デジタルカメラ・ビデオカメラ・DVDレコーダーなど	5  デジタルオーディオプレイヤー・ステレオセットなど	6  パソコンなど
7  ハードディスク・USBメモリなど	8  プリンターなど	9  ディスプレイなど	10  電子書籍端末など	11  電動ミシンなど	12  電動ドリルなど
13  電卓など	14  ヘアスチーマーなど	15  電話式録音機など	16  フィルムカメラなど	17  双眼鏡・電子レンジなど	18  電磁波・放射線計など
19  アイロン・掃除機など	20  こたつ・電気ストーブなど	21  ヘアドライヤー・電気かみりなど	22  マッサージ機など	23  ランニングマシンなど	24  電気足踏み機など
25  事務用機など	26  デジタル検針機など	27  キーボード・エレキギターなど	28  ゲーム機など	<p><b>小さな家電に、大きな資源。</b></p> <p>日本では年間65万トンの小型家電が使われなくなっていますが、その中には844億円分の貴重な金属が含まれています。リサイクルをもっと進めるよう、回収にご協力下さい。よりよい環境のために、未来の子どものために。</p> <p>今回回収日や回収方法は、各市区町村によって異なります。</p> <p>小型家電リサイクル   環境省</p>	